

千葉県高校サッカープレイヤーの心得

サッカープレイヤーであると同時に高校生であることを自覚し、目標を次のように考える

- 1 サッカーを通じて人格の形成を図る。
- 2 サッカーがチームプレーであることを認識し、常に全体の連帯感の中に個人を生かす資質を形成する。
- 3 サッカープレイヤーとしての明朗さと、フェアプレーの精神の養成を、サッカーを通じて図る。
- 4 サッカーにより、基礎的体力の向上と洋々たる未来を支える体力の養成を図る。
- 5 校外行事に臨んでは、サッカー部員の一人ひとりが服装・行動等において、常に学校の代表者たることを自覚して行動する。
- 6 ルールを十分に学習し、研究する。また、審判の判定には黙って従い、言葉や行動で不服を示したりはしない。
- 7 グラウンドの手入れや、ボール・シューズ・ユニフォームの愛護に最大限の注意を払う。
- 8 オフ・ザ・ピッチにおいてもサッカープレイヤーとしてのマナーを忘れない。